

授 業 目 名	解剖学実習 I		授 業 形 態	演 習
			配 当 学 期	1 年(前期)
担 当 教 員 名	池田 卓矢 (アシスタント:廣岡幸峰、その他教員)		単 位 数	1 単 位
			時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 一度失われた機能を改善するためのリハビリテーション訓練を進める時に、日常生活において四肢体幹の動きを考えるその中で、基本的な解剖と生理は欠くことができません。患者の機能改善を考え、もう一度基本に戻って解剖を求めたとき、リハビリテーションとして触診はたいへん重要になります。本授業では、触診の意義、方法について学習をしていきます。</p> <p>〔学習目標〕 体表解剖実習：人体を頭頸部、体幹、上肢、下肢に分け、各部の骨格と筋の関係について触察を通して、存在場所、形態、大きさ、作用を確認し、体表から触知できうる構造物を実際に触察できる。解剖学実習 I では、主に上肢帯、上肢を中心に知識を深める。</p>			
授 業 回 数	授業の内容			
第 1 回	上肢 靭帯・筋 触診1	〔池田〕		
第 2 回	上肢 靭帯・筋 触診2	〔池田〕		
第 3 回	上肢 靭帯・筋 触診3	〔池田〕		
第 4 回	上肢 靭帯・筋 触診4	〔池田〕		
第 5 回	上肢 靭帯・筋 触診5	〔池田〕		
第 6 回	上肢 靭帯・筋 触診6	〔池田〕		
第 7 回	上肢 靭帯・筋 触診7	〔池田〕		
第 8 回	上肢 靭帯・筋 触診8	〔池田〕		
第 9 回	上肢 靭帯・筋 触診9	〔池田〕		
第 10 回	上肢 靭帯・筋 触診10	〔池田〕		
第 11 回	上肢 靭帯・筋 触診11	〔池田〕		
第 12 回	上肢 靭帯・筋 触診12	〔池田〕		
第 13 回	上肢 靭帯・筋 触診13	〔池田〕		
第 14 回	上肢 靭帯・筋 触診14	〔池田〕		
第 15 回	上肢 靭帯・筋 触診15	〔池田〕		
評 価 方 法	実技テスト(50%)、単語帳テスト(50%)で評価を行う。			
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 運動療法のための機能解剖学的 触診技術 改定第2版 上肢・下肢体幹			
履 修 上 の 留 意 点	実技が主体となるので、触診部位を露出しやすい格好で参加してください。 身体へのトレースを行うので、ホワイトボードマーカーを 2～3 色、拭き取り用のアルコールシートを準備してください。			
メ ッ セ ー ジ	特になし			